

社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(社)香川県作業療法士会広報部

事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

四国医療専門学校 作業療法学科内

(社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

作業療法士の力

副会長 前田 悠 志

法人制度改革の一環で、県OT士会も社団法人から一般社団法人への移行を進めていることは、前々から広報やご説明して、総会で承認いただいている。今、正にその渦中にいる。一人前の組織として必要な法人格、会員ひとりひとりが県士会を形成する主役だと私は考える。

OTのネームバリューは、個の力と組織の力の両輪の成果だと思う。個の力とは、正に会員ひとりひとりの力であろう。OTの技術、知識、判断…、臨床で培ってきたそれである。「自分の臨床はまだまだ新人に毛が生えたもので…」、謙虚さと自信のなさが対照的である。実習生を受け入れるとよくわかる。「こんなこともわからないのか?」と心穏やかでなくなる自分がある。うまく説明できない、筋道が通っていない、関連付けが不十分…、フィードバックで説明するがピンとこない学生も少なくない。しかし程度の差はあれ、会員の方も学生の時はよくわからない中、実習に臨んでいたのではないだろうか。何がわからないかわからないからうまく報告や相談ができない、私も実習で苦労した。それが理解できる、これが臨床で培ってきたもののひとつであろう。目の前の対象者に向き合い、試行錯誤して作業療法をして、失敗したり、うまくいかなかったり。その経験の中に習得した技術があるのではないだろうか。会員ひとりひとりが、次のOTへ伝えていかなければいけないと思う。個の力を磨く良い機会でもある。

一方、組織の力とは全国的にはOT協会、県レベルでは県士会になると思う。OTがOTとして働ける、職域を確保できているのもこれから広げるためにも大事な存在である。ひとりの声よりみんなの声の方がよく届くことも多い。意思疎通良く、県士会総会では忌憚のないご意見をいただきたいし、そのための出席をこれからもお願いしたい。統一した考えや方針こそがこれからの県士会の力になるであろう。総会といえばOT協会の総会は来年度から代議員制となり、会員全員が参加の機会があった総会のスタイルは、今年度で最後となった。OT協会もまた法人移行や今後の組織編制で着々と進めている。それぞれ自分の所属している組織だからこそ、ぜひ関心を持ちご協力いただきたい。

最後に、大震災から8カ月が過ぎ少しずつ前へと動き出している。遠い香川から何ができるか考えれば、大きなことはできないのではと手が遠のく。一日も早い復興をお祈りし、せめて風化させないこと、私たちが心に留めておくことはできるのではないか。渡辺憲司氏の「時に海を見よ」の一節をラジオで聞き感涙し、学生時代を思い出し、今を見つめた。明日も全国でOTは活躍し、いきいきと利用者に作業療法を提供しているだろう。

作業療法(士)説明会に参加して

日時：平成23年8月7日(日)

場所：ユープラザうたづ

橋本病院 鎌田 雄大

平成23年度OT説明会を8月7日ユープラザうたづにて行いました。中学生2名、高校生10名、保護者1名の計13名の参加があり、作業療法の説明や治療体験、座談会を行いました。平成8年から始めた本説明会ですが、今年初めて会場近隣13校の中学校にも案内を行い、中学生という一番進路について考える時期に勧誘し、参加頂いたことで高校選択や意欲に繋がったようにも思います。

概論説明では「リハビリテーションとは?」「作業療法とは?」といった基本的な内容だけでなく、作業療法が行われる理由を分野ごとに分かりやすく説明した協会DVD鑑賞をしてもらった後、養成校の教員から「作業療法士国家資格取得」までの流れや養成校の紹介、就職先や求人倍率など、保護者も気になる情報を提供しています。

説明後は、グループごとに治療体験として、自助具作製、車椅子や革細工体験を行いました。初めての試みである自助具作製体験(バネ付き箸、靴下エイド)は、身近な材料を利用して簡単に便利な道具が作れるという事を知ってもらうだけでなく、使用体験を通じてその有効性を知ってもらえたように思います。

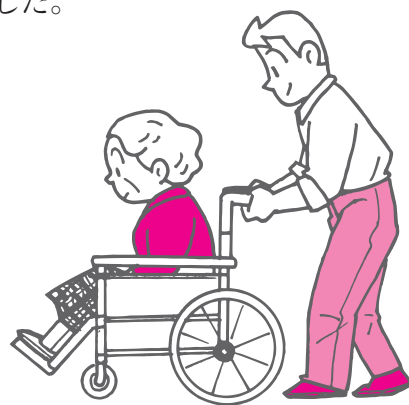


車椅子体験では、屋外での車椅子の乗り心地の悪さや少しの段差で走行が難しくなることを体験したり、車椅子にも様々な種類があることを紹介したりしました。実際の体験では介助する側・される側の両方の気持ちを分かってもらえたのではないかと思います。

私は革細工を担当し、革細工を行う目的や作業活動がもつ意味を説明しながらストラップ作りをお手伝いしました。緊張していたせいかもしれませんが参加者も開始時は会話が少なかったのですが、徐々に活動を通じて会話や笑顔が増え楽しく活動を行うことができました。

座談会やアンケートでは「楽しみながらリハビリできてすごい」「作業療法と理学療法の違いが分かり、作業療法士により関心を持ち絶対になりたいと思った」等の意見を頂戴することができ、とても嬉しい気持ちになりました。

現在、私が作業療法士としての職務に励めるのは作業療法の礎を築き、様々な努力をしてきた多くの先輩方のおかげだと思っています。今後も作業療法の魅力を伝える活動や高校生・中学生が作業療法士になりたいという気持ちを育めるようお手伝いできればと思います。



事業部研修会に参加して

日時：平成23年8月28日
場所：四国医療専門学校

ディサービスタ風 高橋直利

今回、平成23年8月28日に四国医療専門学校で開催された愛野記念病院の田崎和彦先生による「橈骨遠位端骨折の評価と治療」をテーマとした事業部専門研修会に参加させていただきました。

今回の研修会では、田崎先生に橈骨遠位端骨折の治療・評価方法、その注意点などを詳しく説明していただき、また、治療を行うに当たって臨床の場ではどのように行われているか実際の経験を交えて講義していただいたため、私も理解しやすく非常に興味深い内容でした。橈骨遠位端骨折症例に対し掌側ロッキングプレート固定術を行い、良好な整復が行われ強固な固定術が施されていた場合、早期に運動療法を行うことで良好な関節可動域を得やすいこと、逆に保存療法の場合には二次障害が起こりやすいことや拘縮によりリハビリが長期化しやすいなどの問題点がある事などを指摘されていました。今まで臨床の場で作業療法士として活動してきて、橈骨遠位端骨折等の外傷に対するリハビリの経験が少なく、実際に田崎先生がスライドを使って説明されたときには勉強不足を実感しました。また、私は解剖や運動学が苦手な後回しにしてしまいがちでしたが、実際に評価する上で主治医とOTが密に連携を取り、OT自身も画像や臨床所見をふまえなければならず、改めてその大切さに気付かされました。

私の職場では主に脳血管障害の疾患で維持期の患者様がほとんどであり、普段整形分野の関わりが少なく、実際にはどのような評価や治療を行っているのか関心があり、今回の研修会のようなハンドセラピーの評価や治療に対するお話は新鮮でよい刺激になりました。今回の研修会で教わった内容をさらに知識や技術を深めるきっかけにしたいと思います。

公開講座案内

(社)香川県作業療法士会 主催 第13回公開講座

「脳卒中のリハビリ ～その予防・治療・援助まで～」

日時：平成23年12月4日(日) 13:40～16:15(受付13:10～)

会場：高松市市民文化センター(高松市松島町一丁目15-1)

講演Ⅰ「予防と運動療法を中心に」

専門学校 穴吹リハビリテーションカレッジ 教務課長 青戸啓二氏

講演Ⅱ「身のまわり動作を中心に」

松井病院 リハビリテーションセンター 作業療法士 中野良治氏

参加費無料、県士会員は協会ポイント申請中。一般の方にわかりやすい内容となっておりますので、OT、PTはじめ多くの方にご参加いただけますようご周知よろしくお願い申し上げます。なお会場は駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

学術研修会

日時：10月23日(日)

場所：穴吹リハビリテーションカレッジ

社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院 谷岡 祐実

私は臨床で内部疾患の患者様を担当することが多く、今回の研修会で内部疾患の検査結果の見方、リスク管理を再確認したいと思い参加しました。

研修会の内容としては、医師の立場からの作業療法に向けての意見、医療チームでの作業療法の役割や各疾患総論、リスク管理、カルテの見方等について講義していただきました。これまで私が参加してきた研修会は主にPT・OTの先生方が講師をしていただくことが多かったのですが、今回は医師の立場から作業療法に向けての貴重な意見を聞くことができました。

今回の研修会に参加し、内部疾患の総論～作業療法におけるリスク管理についての知識を深めることができました。また、医師からの医療・介護における作業療法の認識がまだまだ低い状況を再認識したため、今後作業療法をチームアプローチの中で、治療の1ツールとして認識されていくような働きかけを日々臨床の中でも行なっていかなければならないと感じました。

〈日頃診る内部障害の基礎の基礎〉

フラワーガーデン伏石 沖 奈 津 美

内部障害は様々な臓器などに障害を起こし、慢性的な生活困難を引き起こします。例えば脳卒中などの疾患は、病院で急性期・回復期に主に身体機能面に対するリハビリテーションが重要です。しかし、急性期・回復期は数カ月程度の為、身体機能面の改善から生活面に視野が映りにくい現状があります。しかし対象者本人が生活するのは、病院ではなく地域社会・在宅です。対象者の中で、特に高齢者は慢性的に1人で多くの疾患をもち症状も様々です。疾患に加え身体機能の低下など老化現象も加わる為、ひきこもりなどによる寝たきりの危険性があります。そのため社会参加などにより防止する事が重要です。その為には医師・看護師などの医療と介護士・ケアマネージャーなどの介護、家族と情報を共有し、生活に則した関わりを行うべきと考えました。これから、病院から地域・在宅の地域レベルで他職種との連携を図り、より細かい関わりを徹底していくべきだと感じました。



広島県士会主催

ピッグアーチサッカー大会に参加しました



しおかぜ病院 前田 悠志

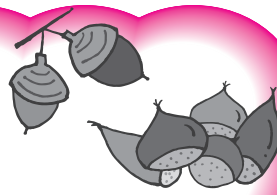
平成23年9月24日(土)広島県士会主催のサッカー大会に参加しました。今年は山口県士会も参戦で広島東部、広島西部、岡山、山口の4チームで優勝を目指してサッカーを楽しみました。…「香川県は？」とお気づきの方もおられると思います。昨年度優勝、今年度は福利部事業として華々しく臨んだのですが、大会当日は連休の土曜日。最近は珍しくない土曜日勤務の方が多かったのと、連休で予定が入っている方もおられ、例年約20名の参加ですが、今年は3名と寂しい結果となりました。

当然トロフィー返還という大事な任務がありましたので、参加させていただき、それで失礼しようかと思っていたその時、事務局長から「せっかく来たんですから、一緒にやりませんか？」という提案をいただき、3名は人手の少なかった「広島東部」として、一緒にサッカーをさせてもらうことになりました。今回は各チーム力が拮抗しており、ほとんど同点。我が(?)「広島東部」も先制点は許しながらも見事なボレーシュートで追いつくという、“なでしこジャパン”を彷彿させる場面も見られました。

「広島東部」は2位、優勝は山口県士会でした。色々調整や変更の段取りをしていただいた高木会長、馬場事務局長、また暖かく迎えてくれた「広島東部」の皆様、ありがとうございました。試合後のお好み焼きもおいしかったし、ますます広島のことを好きになりました。場所は違えど、みんなひとつ空の下、OTとして活躍している現実、暖かく自然に交わす会話、真剣に蹴り合うサッカー、楽しめた1日、何か心豊かになり香川へ帰ってきました。

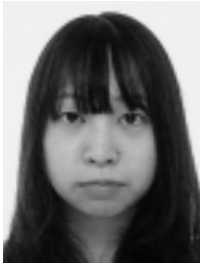


新入・転入会員紹介



今年度も多くの方が県士会に入会されました。これからよろしくお願いします。(順不同・敬称略)

①氏名 ②生年月日 ③出身地 ④出身校 ⑤勤務先 ⑥趣味・特技 ⑦職歴 ⑧自己アピール ⑨抱負

	①西岡奈菜 ②昭和63年8月15日 ③愛媛県 ④専修学校愛媛医療専門大学校 ⑤医療法人ブルースカイ松井病院 ⑧島育ちで、のんびりマイペース ⑨一つ一つの作業に着目して重要で意味のある作業を探り、私らしくOTしていきます。
	①岩田恵里 ②昭和61年10月18日 ③香川県 ④玉野総合医療専門学校 ⑤医療法人ブルースカイ松井病院 ⑥ドライブ、スノーボード ⑧スポーツが好きです。 ⑨常に明るく、前向きで頑張っています。
	①水口未紅 ②平成1年12月13日 ③香川県 ④専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ ⑤医療法人ブルースカイ松井病院 ⑧とってもマイペースです。 ⑨1人1人、その人に合ったりハビリを提供していけるよう、日々、勉強していきたい。
	①森長晃子 ②昭和57年6月29日 ③徳島県 ④四国医療専門学校 ⑤サン未来 ⑥歌 ⑧おもしろい事や楽しい事を考えるのが大好きです。 ⑨はやく求められる人になる様に努力します。
	①阿部直紀 ②平成2年2月3日 ③愛媛県 ④四国中央医療福祉総合学院 ⑤橋本病院 ⑥ドライブ・音楽鑑賞 ⑨患者様の気持ちに応えられるように頑張ります

	①白川文香 ②平成1年7月17日 ③香川県 ④岡山医療技術専門学校 ⑤橋本病院 ⑥趣味：おかし作り、買い物 ⑨先輩の様な素敵な作業療法士になりたいです。
	①神田智明 ②昭和63年5月24日 ③香川県 ④広島大学 ⑤総合病院回生病院 ⑥バスケットボール、野球 ⑧一生懸命です。 ⑨患者さんを愛するセラピストになりたいです。
	①播磨嘉美 ④四国医療専門学校 ⑤総合病院回生病院 ⑥旅行 ⑧笑顔で必死でやってます。 ⑨患者さんに愛されるセラピストになりたいです。
	①山内康広 ②昭和57年11月22日 ③香川県 ④吉備国際大学 ⑤坂出市立病院 ⑥海釣り ⑦(大阪府)森之宮病院リハビリテーション部作業療法科勤務 ⑨今年4月より香川に帰ってきました。皆さまよろしくお願いします。

リハビリテーション特別研修会委員会のメンバー訂正について

長田 功子（高松老人保健施設フローラ）

瀬間 義之（介護老人保健施設 桃源苑）

稲井 亮介（かがわ総合リハビリテーションセンター）

多田 夏美（吉田病院）



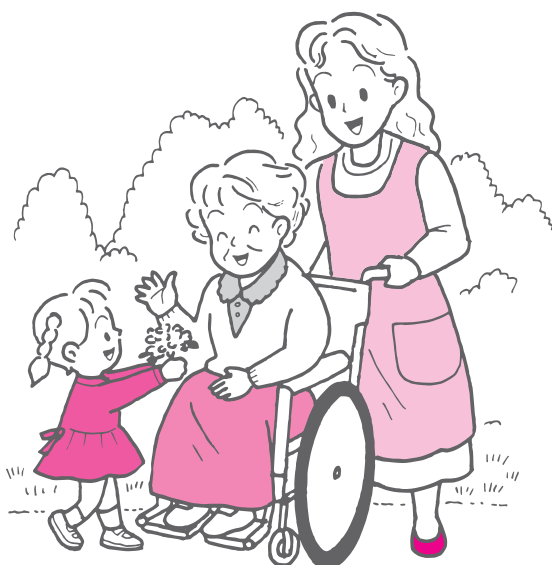
～リレーエッセイ 25～

医療法人社団 彰志会 ポタラの森 瀬戸 信

私は、作業療法士になって3年目です。利用者さんの診療を行っていくことに悪戦苦闘しており、自身の知識、技術の低さに自己嫌悪に陥っている毎日です。そんな私ではありますが、学校卒業後、急性期病院で勤め、現在慢性期に携わっている中で感じたことを述べさせていただきます。

学校を卒業し、勤めだした頃は右も左も分からず、毎日業務をこなしているだけでした。業務に慣れてきてからは色々考え、勉強もしてきたつもりでしたが、実際に行っていることといえばほとんどが機能訓練でした。現職場に転職し慢性期を経験したことで気付いたことですが、本来の作業療法の定義である、作業を用いて応用的動作能力または社会適応能力の回復を図るということは、あまり考えることができていなかったように思います。また、病院ではあまり経験できなかった地域連携の重要性を痛感しました。多職種がそれぞれの専門性を持って連携し、利用者さんが住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けるための取り組みを行っていかねばならないと気付きました。

株式会社セラピット 代表取締役 作業療法士の大浦由紀氏は、「住み慣れた地域で、意味のある作業(日常生活活動・趣味・仕事など)をし続けてはじめて人は元気でいられる。」と述べています。そのためには在宅復帰だけでなく、QOLの向上を目的とした生活目標が必要であり、利用者さん個々の情報を多職種で交換・共用していかなければなりません。現在、私は、利用者さんの担当者会などに出席する機会をいただいたり、ケアマネージャーに話を伺う機会をいただいたりしています。それぞれの職種によって、利用者さんに対するニーズがあり考え方も様々で、多方面から利用者さんのその後の生活を考えていくための良い経験になっています。この経験が無駄にすることなく、今後も地域連携を図りながら、その人らしい個別の生活目標を考え達成できるように努力していこうと思います。



＜第13回香川県作業療法学会のご案内＞

くらしに寄りそう

～地域の中での役割を考えましょう～

学会長 長田 功子

テーマを『くらしに寄りそう～地域の中での役割を考えましょう～』とし、平成24年1月15日に第13回香川県作業療法学会を開催する運びとなりました。現在実行委員6名が中心となり、例年に倣い学術的な色彩を高めることを意識した学会開催を目指しています。

特別講演として地域および在宅支援の第一線で活躍されています、谷 隆博先生をお招きいたします。どうか多数のご参加をお待ちいたしております。

日時：平成24年1月15日(日)9:00～15:20

会場：四国医療専門学校

内容：一般演題（約15題）



特 別 講 演

◇テーマ：『在宅リハサービスとこれからのOT

～地域リハビリテーション25年の実践～』

◇講 師：谷 隆博 先生

作業療法士

(社)日本作業療法士協会 常務理事

(株)メディケア・リハビリ GM



香川県の作業療法士のみなさま。このたびは、お招きくださりありがとうございます。

世界のどの国も経験したことがないスピードで進んでいるわが国の高齢化、在院日数の短縮に伴う在宅医療・在宅ケアの推進、認知症ケアの充実など、作業療法が関わる領域は今後ますます増えていきます。

このような中、地域リハを25年間展開してきた経験から、これから期待される作業療法の在り方をみなさまに少しでもお伝えできればと思っております。

(問い合わせ先)

学会事務局

高松協同病院 OT 科

事務局長 戸田 洋子

TEL087-833-2330

y-toda@kagawa.coop

※尚、学会開催前日の夜に講師の谷先生をお招きして懇親会を予定しています。

第22回香川県リハビリテーション特別研修会

これからの在宅リハビリテーションのあり方

日時:平成24年2月26日(日) 9:40~15:20 (受付9:00~)

会場:総合会館アイレックス 大ホール

香川県丸亀市綾歌町栗熊西1680番地 ※無料駐車場あり

研修会長:鍋坂信夫 準備委員長:小林敬祐

講演Ⅰ 9:40~10:40

「香川県における介護保険の状況」

講師:大淵直也 氏 【香川県長寿社会対策課 課長補佐】

講演Ⅱ 10:50~12:20

「訪問リハビリテーションで生活が変わる

～OT的視点とその効果～」

講師:成田邦子 氏 【高松協同病院 訪問リハビリテーション科 科長 作業療法士】

特別講演 13:20~15:20

「訪問リハビリテーションの役割と今後のあり方」

講師:吉良健司 氏 【株式会社らいさす 代表取締役 訪問看護ステーションドリームチーム 理学療法士】

参加費:1000円 ※学生無料

お問い合わせ先

第22回香川県リハビリテーション特別研修会事務局
香川県丸亀市宗古町5番地
吉田病院 理学療法士 稲毛良則
TEL:0877-22-8101
FAX:0877-22-8102



平成23年度 (社)香川県作業療法士会 賛助会員名簿

(50音順)

No.	団体名(施設関係)	住 所	電話番号
1	医療法人財団 エムアイユー 麻田総合病院	〒763-8507 丸亀市津森町219番地	0877-23-5555
2	学校法人穴吹学園 専門学校 穴吹リハビリテーションカレッジ	〒761-8056 高松市上天神町722-1	087-815-3300
3	社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院	〒762-0007 坂出市室町3丁目5番28号	0877-46-1011
4	医療法人社団 永井整形外科医院 介護老人保健施設 城山苑	〒762-0025 坂出市川津町1495	0877-45-1178
5	医療法人社団 光風会 三光病院	〒761-0123 高松市牟礼町原883-1	087-845-3301
6	医療法人社団 三和会 しおかぜ病院	〒764-0021 仲多度郡多度津町堀江4丁目3-19	0877-33-2545
7	学校法人 大麻学園 四国医療専門学校	〒769-0205 綾歌郡宇多津町浜5番丁62-1	0877-41-2330
8	医療法人社団 和風会 橋本病院	〒768-0103 三豊市山本町財田西902-1	0875-63-3311
9	特定医療法人 深田記念会 松井病院	〒768-0013 観音寺市村黒町739-1	0875-23-2111
10	医療法人社団 三愛会 三船病院	〒763-0073 丸亀市柞原町366	0877-23-2341
No.	団体名(業者関係)	住 所	電話番号
11	尾路医科器械株式会社	〒760-0008 高松市中野町12-6	087-862-6381
12	有限会社ゴトー商事高松	〒761-0446 高松市東植田町812-3	087-840-4030
13	四国医療機器株式会社	〒760-0020 高松市錦町1丁目11-11	087-851-3318
14	株式会社日協堂医療器	〒768-0040 観音寺市柞田町上出甲43-1	0875-57-5757

Information

〈広報部より〉

○他県士会ニュースが届いております。

北海道士会 No.88、94、96、97

秋田県士会 Vol.28

山形県士会 No.88、93

宮城県士会 No.116

群馬県士会 99、105号

東京都士会 No.124、138～140

神奈川県士会

No.139、141、149～151

石川県士会 No.72、73、79、80

長野県士会 No.146、154～156

山梨県士会 No.77

愛知県士会 No.119、120

滋賀県士会 No.58

京都府士会 No.120、128～130

大阪府士会 No.149

兵庫県士会 No.147、3、2

奈良県士会 Vol.69、75、76

島根県士会 No.24

岡山県士会 No.88

広島県士会 168、176、177号

山口県士会 No.171、185～189

高知県士会 No.109、113、129

福岡県士会 第98、104、105号

宮崎県士会 Vol.58

香川県医師会週報

No.1417、1418、1446、1447、1449～1455

支部連絡協議会ニュース No.6

香川県PT士会 No.92、101

日本介護福祉士会ニュース Vol.105

香川県介護福祉士会 No.52

☆私のおすすめ♪(編集委員から一言)☆

神奈川県士会No.151

青年海外協力隊の体験記が掲載されています。

山梨県士会No.77

精神科におけるニーズに即したプログラム提供について書かれています。

京都府士会No.130

爪切りの自助具について紹介されています。

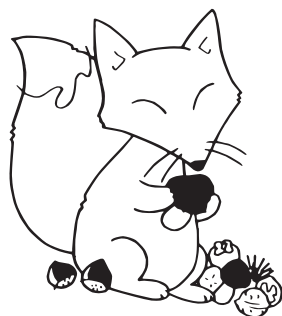
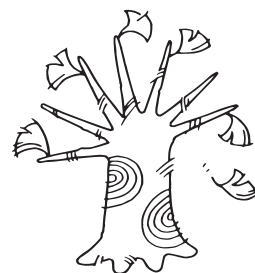


事務局連絡

入 会 松江沙祐里 (西香川病院)
塚本 紘子 (西香川病院)
玉井千津子 (五色台病院)
臼杵 利彩 (丸亀おのクリニック)
大野 心平 (吉田病院)
栗山 和子 (高松協同病院)

異 動 藤本 弾 (高松平和病院⇒回生病院)
仁木 隆之 (溝渕クリニック⇒香川大学医学部付属病院)
泉 嘉美 (回生病院⇒自宅)

退 会 向井 知里 (阪本病院) 県外異動
田中 里朋 (桃源苑)



■(社)香川県作業療法士会ニュースNo.54■

編集担当 磯崎幸子・清家庸佑・平井可奈・松江沙祐里・吉田奈々・丸岡恭平・福原奈々